

今日のキーワード 「マイナス金利」とは？（日本）

日銀は、1月28日～29日の金融政策決定会合で、「マイナス金利」付き量的・質的金融緩和の導入を決定しました。これにより、2月16日から金融機関が保有する日銀当座預金の一部に、▲0.1%の「マイナス金利」が適用されます。市場ではそれを先取りする格好で金利の大幅低下が進行し、日本の10年国債利回りは2月9日に初めてマイナスとなりました。

ポイント1

国債の利回りがマイナスとなる理由

国債の価格が急騰しているため

- 日銀当座預金に「マイナス金利」が付利されると、金融機関は日銀にお金を預けても損になります。余ったお金は融資に回した方がよいのですが、すぐにお金を借りてくれる先は見つかりません。そのため金融機関の間に、当面の運用先として国債を買っておこうという動きが広がりました。国債の価格と利回りは反対に動き、価格が上がれば利回りは低下します。国債人気で価格が急騰した結果、利回りはマイナスとなりました。

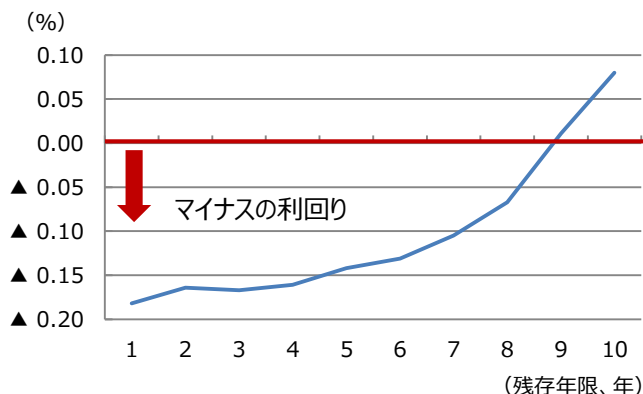
ポイント2

日銀の国債買い入れ

マイナス利回りも対象に

- 通常、マイナス利回りの国債を満期まで保有すると損になります。しかし日銀は、満期前にさらに高値で金融機関から国債を買い入れています。そのため金融機関はマイナス利回りでも積極的に市場で国債を購入しています。
- 短期から長期までの国債利回りを結んだものをイールドカーブ（利回り曲線）といいます。一部の期間の利回りはすでに▲0.1%を下回っています。これは日銀が▲0.1%を下回る利回りの国債も買い入れるとしているためです。

日本国債のイールドカーブ（利回り曲線）



(注)データは2016年2月12日時点。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開

マイナス金利の影響を見極める展開に

- 「マイナス金利」の家計への影響を考えた場合、住宅ローン金利の引き下げはメリットですが、預金金利の引き下げはデメリットです。また企業にとって貸出金利の引き下げは恩恵となりますが、手元資金を潤沢に保有する企業の場合は、金利の低下が直ちに貸出増加につながらない可能性があります。
- なお欧州中央銀行（ECB）は日銀に先立つ2014年6月に「マイナス金利」の導入を決定しました。その後ユーロ圏の物価は原油安の影響を受けつつも緩やかながら上向いています。日本においても物価など実体経済に対し、徐々にプラスの効果が出てくることが期待されます。

ここもチェック！

2016年 2月 9日 日本株式は再び売られ過ぎ、低金利が株価を下支え

2016年 1月 29日 日銀の金融政策（2016年1月）「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」を決定

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。